

テーマ

ふるさとについて学ぼう！
～ふるさとの魅力再発見～

公民館等名

安来市 赤江交流センター

テーマの背景

核家族化が少しずつ進み、また他地域から転入してくる子育て世代もいる中で、地域に伝わっている昔話について大人が知る機会は減ってきている。そこで、大人が身の周りにある自然を活用したり、地域について学ぶ場をつくることによって、地域についての関心や、若い世代に地域の良さを伝えていこうとする機運を高めることを目的に事業を実施した。

実際の取組

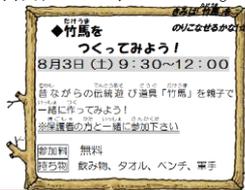
取組内容：竹馬作り

<取組の概要>

【目的】親子対象の竹馬作りを通して自然に触れ、また、大人同士の交流を図る。

【対象】大人、親子 【実施場所】赤江交流センター

【内容】地域の大人が講師となり、親子対象の竹馬作り教室を実施した。竹馬作りを通して、住民同士が交流を図ると共に、身の周りにある豊かな自然を活用して楽しんだ。



と(募集チラシ)



(竹馬作りの様子)

(出来上がった竹馬で遊ぶ様子)

<成果と課題>

□子ども対象の事業はこれまで平日を中心に行っていたが、今回は土曜日に開催したことによって、若いお父さんの参加があった。

□大人同士の年代を超えた交流を図ることができた。

■初めての試みだったこともあり、定員が親子10組と限定的だった。

■夏場の暑い時期の開催だったため、ボランティアの負担感が大きかった。

実際の取組

取組内容：講演会「たたら製鉄と安来の深いご縁」の実施

<取組の概要>

【目的】地域の歴史について学び、地域への関心を高める。

【対象】大人 【実施場所】赤江交流センター

【内容】教育委員会文化財課から講師を招き、地域の大人対象の歴史講演会を実施。赤江地区を流れる飯梨川とたたら製鉄との関りの話を聞くことができ、地域の成り立ちについても学ぶ機会となった。

(講演会の様子)



(募集チラシ)

<成果と課題>

□参加者が地域の歴史を学ぶことが出来た。

□アンケートでは、参加者の約8割の人が「地域への関心が高まった」と回答した。

□若い世代の人にも地域の歴史について知ってほしいと感じる人がいた。

■平日の開催だったため参加出来る人が限られた。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

□事業の内容、開催日時を工夫したことで、子育て世代の参加があった。

□これまでは子ども対象の事業は子どものみの参加も受け付けていたが、今回は敢えて保護者同伴とした。

□アンケート結果より、地域について学ぶことによって、参加者の地域に対する愛着が深まり、地域活動への関心を高めることが出来た。

□若い世代の人にも地域の歴史について知ってほしいと感じる人がいた。

今後の展望

■ボランティアスタッフの負担感を軽減するため、ゆとりあるスケジュールを立て大人同士の交流がより図れるよう工夫する。

■ボランティアスタッフの固定化を防ぐため、ボランティア交流会の開催をするなど、より多くの人が地域活動に関われるきっかけづくりをする。

■講演会のように一方的に話を聞き学ぶ活動ではなく、「ウォーキング大会+史跡巡り」など、他の付加価値もつけ、若い世代の参加者にも魅力的な内容になるよう工夫する。

■参加者が参加しやすい開催日時になっているか、今一度考えて企画する。

(文責：主事 山中純子)